

年頭ごあいさつ 新しい時代を輝く未来に!



舞鶴商工会議所
会頭 小西 剛

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、平成31年の新春をお健やかに迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

私は、新しい年を迎えるにあたり、舞鶴商工会議所の組織を挙げて、引き続き、国・府・市などの行政機関や、海上自衛隊・海上保安庁などとの強固な連携のもと、この舞鶴が、未来に輝き、より「元気なまち」「夢あるまち」そして「楽しいまち」になるよう、取り組んでいく決意を新たにしています。

さて、本年は、改元の年であり、「平成」が終わり、次の新たな時代の幕開けです。

私たちを取り巻く社会経済環境は大きく変わりつつあり、東京一極集中と地方の疲弊や少子高齢化、働き手不足など多くの地域課題が深刻化する一方で、経済発展と社会課題の解決をするために、ICTやIoT、AIなどの先端科学技術をあらゆる産業や暮らしに取り入れる動きも出ています。

本市においても、こうした時代の潮流を見据えて、これまで政経一体となって取り組んできた「まちづくり」の延長線上に、本市の強みをさらに伸ばしながら、20年、30年後の元気なまちの姿を想定し、これから私たちの地域で成すべきことを取りまとめた次期の舞鶴市総合計画の策定が進められています。

私は、この舞鶴市総合計画審議会に委員として参画させていただいており、「まちづくりの原点は、市民みんながこのまちに愛着と誇りを持つことである」との思いから、地元経済界を代表する立場で意見を述べてきました。

この、次期総合計画では、これまでの成果を最大限に活かし、このまちで暮らす誰もが輝き続けることができる「未来を拓くまち」を目指すこと、また、本市が、日本海側における「国防」と「海の安全」、「エネルギー」や「ものづくり」、「観光」の拠点として「国際交流・港湾都市」であり続けるまちを目指すこととしています。

私たちの舞鶴は今、高速道路網の完成や、京都舞鶴港の機能強化によって、人流・物流が飛躍的に増加しています。そしてこれからも、京都舞鶴港の整備促進や、国道27号西舞鶴道路の建設、白鳥トンネルの4車線化等のインフラ整備のほか、クルーズ客船の誘致、赤れんがパークの活用による観光振興や、京都舞鶴港を受け入れ基地にし、日本海側から太平洋側に敷設するLNGガスパイプライン計画、山陰新幹線京都府北部ルート誘致など、夢のある大型プロジェクトが着々と進められています。

さらに、昨年11月には大阪万博の2025年開催決定の朗報が届きました。これを2020年東京五輪に続く景気浮揚の起爆剤として、関西地域全体の経済活性化や観光振興などにつながるものと期待は高まっています。

このような世の中が大きく変化するとき、民間企業も自己変革が不可欠です。不確実・不透明な時代であるからこそ、企業経営者は目の前の課題をむしろチャンスとして捉え、果敢に挑戦すべき時を迎えています。

商工会議所では、経営者の「気づき」を促し、身の丈に合った形での、ICTやIoT、AIを身近な経営改善に活用いただけるよう、すそ野の広い様々な支援事業を積極的に展開してまいります。

舞鶴には、まだまだ生かせる素材と潜在能力があります。会員の英知を結集して、“知恵”や“工夫”、“熱い思い”で、地域にある資源とポテンシャルを最大限に活用し「みんなが稼げるまち」を創っていかねばなりません。

そして、「地方創生」と「中小企業の活力強化」を目指す中核的組織として、「成長する経済」の実現に自ら主体的に取り組み、明るい未来を切り拓いていきましょう。

明日の舞鶴を「輝く未来」にするため、本年も、舞鶴商工会議所に対しまして、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。